

# 「東京都北区GIGAスクール構想」 ICT利活用に関するアンケート調査

## アンケート調査概要

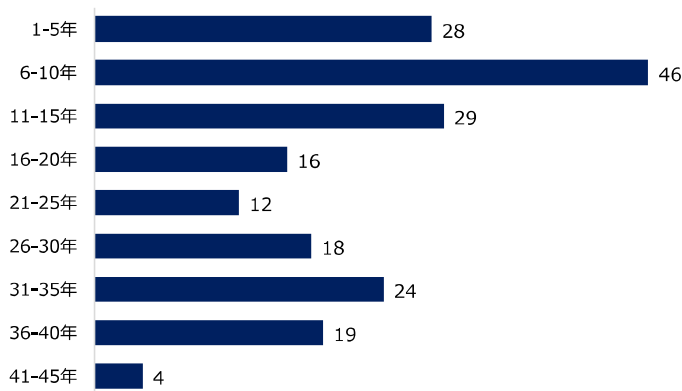
北区におけるICTの利活用推進に向けた課題等を把握するために、教員・保護者に対してアンケート調査を実施し、教員196件・保護者4,050件の回答を得た。

|      | 教員アンケート   | 保護者アンケート   |
|------|---|--|
| 実施目的 | <ul style="list-style-type: none"><li>GIGAスクール構想に基づき導入するICT環境の利活用について、ステークホルダーとなる教員・保護者に対して現状の意識調査を実施し、現場が期待する事項や課題について把握する</li><li>結果を基に、導入後の運用方針やサポート体制等について検討・整理する</li></ul> |  |
| 実施時期 | <ul style="list-style-type: none"><li>2020年11月25日～12月7日</li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>2020年11月25日～12月7日</li></ul>            |
| 実施方法 | <ul style="list-style-type: none"><li>北区教育委員会から各学校を通じてGoogleフォーム形式のアンケートURLをEメール等で発信・集計</li></ul>   |  |
| 回収数  | <ul style="list-style-type: none"><li>196件</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>4,042件</li></ul>                       |
| 調査内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>ICT活用の現状及び今後の活用推進に向けた期待・課題</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>家庭でのICT活用状況及び学校ICT化に対する期待・不安</li></ul> |

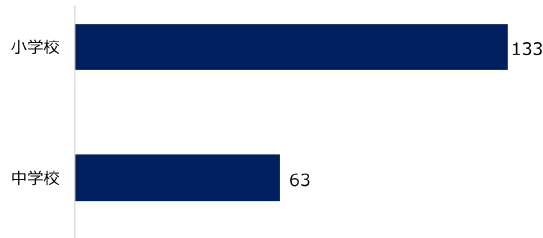
## 回答者属性

区内小中学校に勤務する全教員を対象に調査を行い、回答者割合は経験年数1～15年目の教員が過半数を占める。

Q：教員としての経験年数を教えてください。



Q：勤務している学校を教えてください。



(N=196)

3

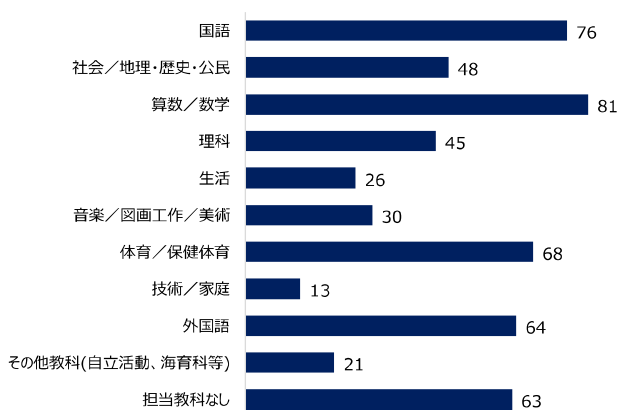
## 回答者属性

回答者は一般職：管理職=4：1の割合。小学校は教科担任制ではなく1人が複数の教科を受け持っているため、担当教科の割合は低学年からある科目（国語・算数・体育）が高い。

Q：担当している学年等は何年生ですか。



Q：担当している教科は何ですか。(複数選択可)



※管理職は「担当教科なし」で回答

(N=196)

4

## エグゼクティブサマリ（1/2）

### 【教員アンケート】

- 全体的に約**8割**の教員が「1人1台端末実現後には現状よりも積極活用する意向」を有しており、特に、**デジタル教科書・ドリル教材**(ラインズ・スタディサプリ等)への期待が高い
- 現在、**協働学習ツール**を活用している教員は1割未満であるが、今後の活用を希望する割合が高く(約43%)、GIGAスクール構想を通じて、スクールタクト・ロイロノート等の**授業支援システム活用による対話的な学びの促進**への期待が高い
  - **小学校高学年**の担任または管理職クラスの**ベテラン**の期待が特に高く、教科別では**班学習の機会が多い「社会」・「生活」・「技術/家庭」**等を教える教員のニーズが比較的高い
- 現在、約**5割**の教員がほぼ毎日ICTを活用している中、特に割合が高いのは**技術/家庭の担当**であり、**情報技術の知識を有する技術系教員ほど積極活用**に至っている
- **生徒用端末**は**理科**や**技術/家庭**を教える**小学校高学年の担任**が最も活用割合が高いことから、1人1台端末は実験等演習授業での活用が進みやすいと想定される
  - 経験年数別では1~10年目の教員が最も生徒用端末を活用している状況であり、**若手教員ほどICTを活用した授業づくりに積極的**であることが想定される

5

## エグゼクティブサマリ（2/2）

### 【教員アンケート】

- **メッセージ・連絡ツール**を活用している教員は**管理職**が多く、現状は**教員間での事務連絡等の情報伝達手段**としてEメール等を活用しているケースが多い
  - 具体的な活用方法では、「**業務連絡**」「**職員間の連絡**」「**教材研究**」「**研修**」「**学校ホームページ作成**・**区教育との連携**、**保護者会**」等で連絡ツールが用いられている
  - 生徒・保護者等への連絡での活用は進んでいないため、GIGAスクール構想を通じて**連絡手段にICTツールを積極活用**していくことが業務効率化の観点からも重要

### 【保護者アンケート】

- 学校ICT化で保護者が最も期待するのは、**学校との連絡対応の効率化**であり、**出欠連絡**や学級日より**等お便りのデジタル化**の早期実現が保護者の期待の観点からも有効なユースケースと言える
- 保護者の見えない範囲で「**悪口・いやがらせ・仲間はずれ**」が起こることを最も懸念しており、**教委・学校によるチャット・メール機能の適切な運用ルール作り・管理**が求められる

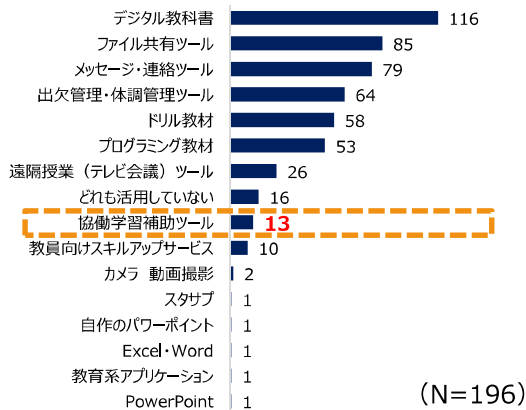
6

## 北区教員アンケート結果

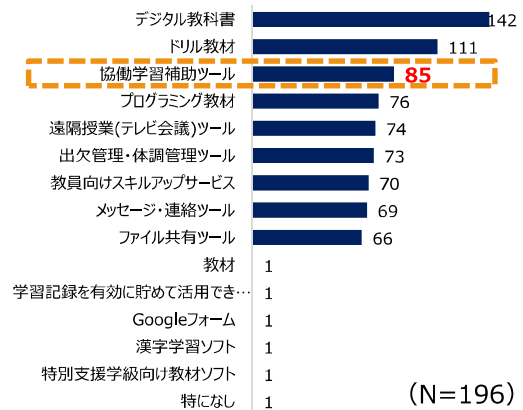
### 調査結果 ～協働学習ツールへの期待

現在の環境下で協働学習補助ツールを活用している教員は1割未満であるが、今後の活用を希望する割合が高く、対話的な学びの促進を特に求めていることが想定できる。

現在のICT教材・ツールの利用状況



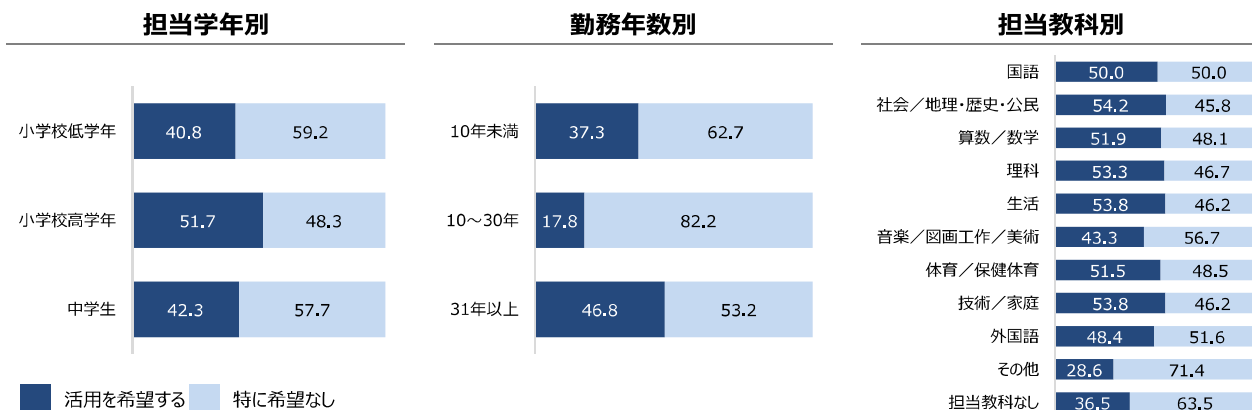
今後のICT教材・ツールの利用希望



## 調査結果 ～協働学習ツールへの期待

協働学習補助ツールの活用を希望しているのは、小学校高学年の担任または管理職クラスのベテランの割合が高く、教科別では班学習の機会が多い「社会」・「生活」・「技術/家庭」等を教える教員のニーズが比較的高い。

協働学習補助ツールの活用を希望する教員割合(N=196)

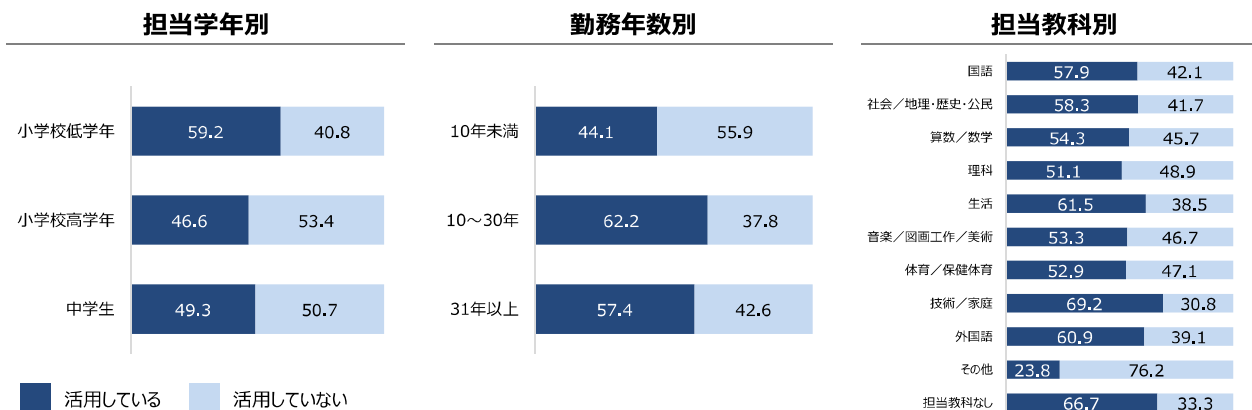


9

## 調査結果 ～ICT活用に積極的な教員属性

ほぼ毎日ICTを活用していると回答した中で最も割合が高いのは「小学校低学年」の担任、「教員歴10～30年」の中堅層であり、担当教科別では情報技術の知識を有する技術科教員が教員用端末を中心に積極的な活用に至っていると考えられる。

ほぼ毎日ICTを活用している教員割合(N=196)

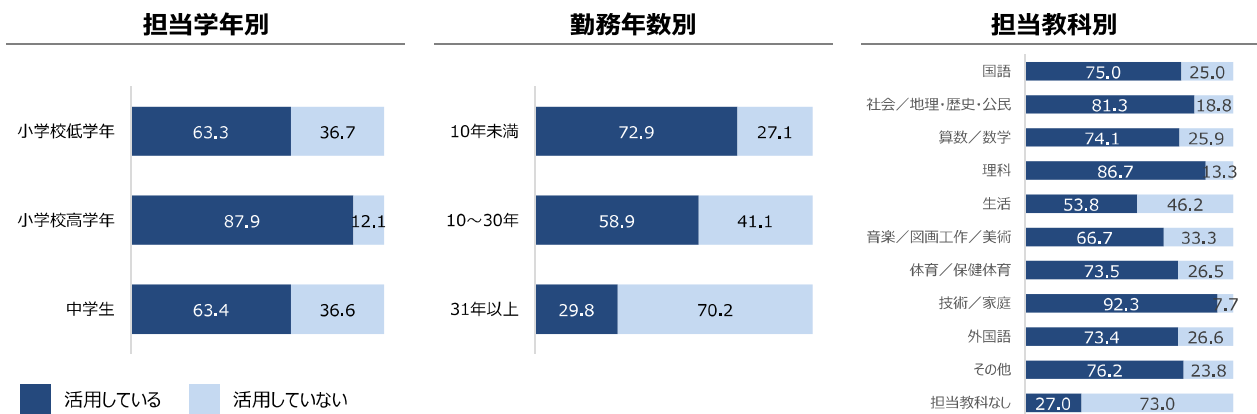


10

## 調査結果 ～生徒用端末活用に積極的な教員属性

生徒用端末は「小学校高学年」が最も活用割合が高く、若手教員ほど利活用が進んでいる。教科別にはICTスキルを有する技術科教員が使っていること、理科では実験等の演習時に活用されていることが想定される。

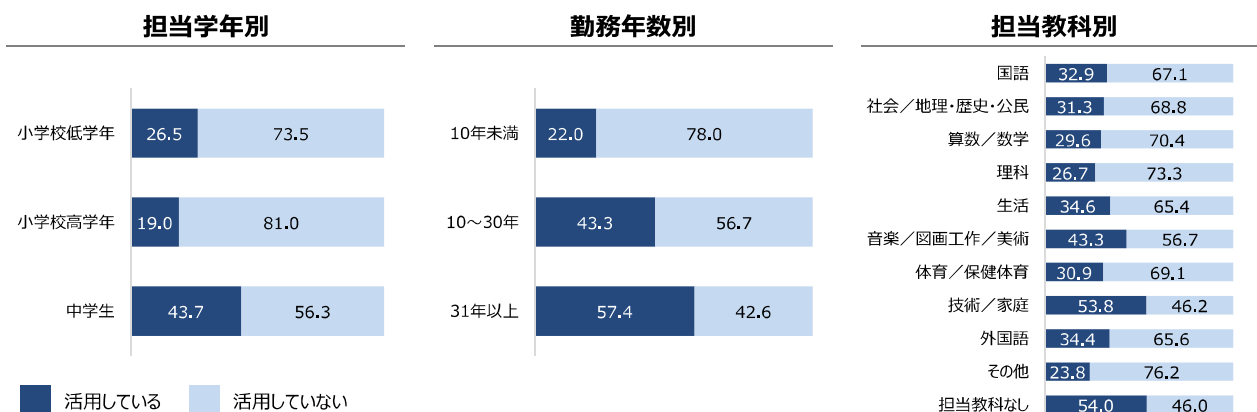
生徒用端末の活用割合(N=196)



## 調査結果 ～連絡ツールとしてのICT活用

メッセージ・連絡ツールを活用しているのは管理職が多く、現状は教員間での業務連絡等の情報伝達手段としてEメール等を活用しているケースが多いと想定される。

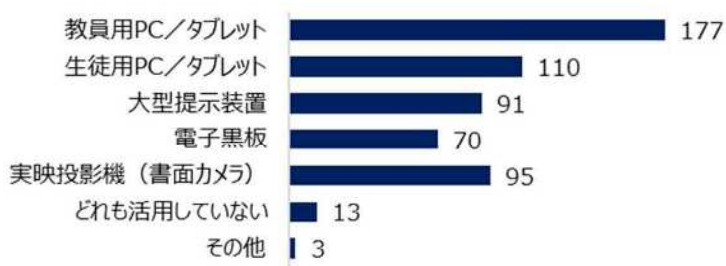
メッセージ・連絡ツールの活用割合 (N=196)



## ICT活用の現状

9割の教員が自身の教員用端末を活用できているが、生徒用端末の活用は5割強に留まっていることから、1人1台端末実現後は生徒及び現場教員に対して日常的に活用されるための具体的な活用指針を示す必要がある。

**Q：あなたが担当する教務・校務等では、どのICT機器を活用していますか。（複数選択可）**



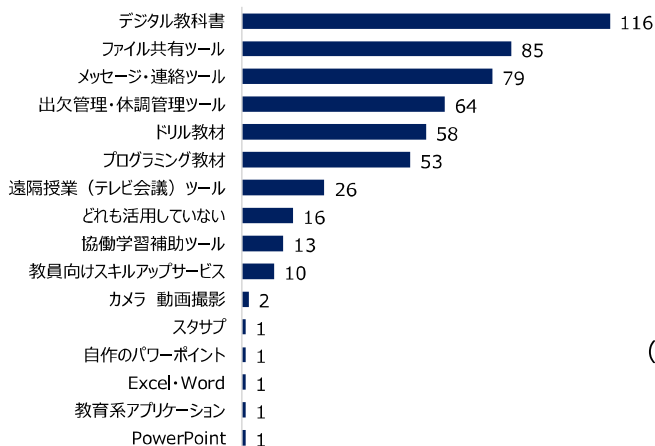
(N=196)

13

## ICT活用の現状

現状はデジタル教科書・校務での利用が多い一方で、アクティブラーニングに適した協働学習補助ツールやプログラミング教材等、新学習指導要領で求められる資質・能力を育むためのデジタル支援ツールの活用は十分とは言えない状況。

**Q：現在どのようなICT教材・ツールを利用していますか。（複数選択可）**



(N=196)

14

## ICT活用の現状

現状は校務での活用シーンが比較的多いが、個別に見ると調べ学習等で授業において活用している事例もあり、ICT活用は個々のスキル・リテラシーに依存するところが大きいと考えられる。  
**Q：主にどのような業務・シーンでICTを活用していますか。また、具体的な活用方法を教えてください。**

| 回答一覧  | 回答一覧  |
|---|---|
| 教材研究  | 授業中、デジタル教科書を用いて拡大提示   |
| 業務連絡・伝達   | 調べ学習  |
| 職員への連絡 研修等  | 職員会議など  |
| 文章作成・事務処理等  | 国語、社会のリーフレット、新聞作り、体育の課題解決補助教材、体育の器械運動等で動きの確認  |
| 事務作業・伝達作業   | 週予定、連絡メール他多数  |
| 校務推進  | 月行事予定表作成、保護者向け文書作成  |
| デジタル教科書、ZOOMなど                                    | 授業、校務、研究研修等   |
| 校務 都や国の研修動画、他校との連絡等                               | 図工作品鑑賞  |
| 授業において視覚的に提示した方が効果的な教材があるとき、外国語の短時間学習             | 手本を見せるために実物投影機  |
| 報告、連絡、書類作成、情報共有                                   | 作品の共有、活動等の視覚的支援、記録写真、映像音響データ教材作成  |
| 授業、成績、事務作業  | 教科書は毎日使用している。   |
| 授業で動画を見せるとき、手元を映すとき                               | 児童用タブレットは調べ学習の時にインターネットを活用したり、パワーポイント島でまとめさせたりすることや体育の時に使用。教員用は基本的にすべての教科でデジタル教科書、書画カメラを使用。その他、プログラミングロボットを使った授業やクラブ活動も行なっている。また、運動会の様子をzoomを用いた生放送をしたり、運動会の得点をエクセルで行い係児童を減らしたりするなど、コロナ禍に対応した活用もしている。 |
| 研究授業等   | 他の教員に周知する時にC4thの掲示板を使っている。授業の様々な場面で活用している。  |
| 児童に教える  | 学習指導  |
| 授業で子供たちが活用する際の支援に入っている。                           |   |
| 教材や資料提示、児童のノート、動画の共有                              |   |
| 授業中や授業準備、日々の児童の記録                                 |   |
| 子供に分かりやすく視覚的に説明したい時や、子供がデジタルデータを使って「つくる」活動を計画した時。 |   |
| 授業時・補習時・クラブ                                       |   |

15

## ICT活用の現状

続き。

**Q：主にどのような業務・シーンでICTを活用していますか。また、具体的な活用方法を教えてください。**

| 回答一覧  | 回答一覧                               |
|---|------------------------------------|
| 授業中の様々な学活活動において（デジタル教科書を使った音読を聞く・自分が行う、調べ学習、新聞やレポートにまとめる学習、個別のドリル学習）                                | 個別指導での教材の一つとして                     |
| 保護者配布文書の作成  | c4thの掲示板による校内の教職員への連絡              |
| 授業で資料を提示するとき、見本として見せるとき   | デジタル教科書、実物投影機を使用した授業               |
| 授業でテレビを視聴する時、学級のPCや大型テレビを使用。授業で、手元の作業を説明したり、ワークシートやノートの書き方を説明する時に、書画カメラを使用。読み聞かせの際、書画カメラで絵本の絵を大きく提示 | 児童指導 教務事務                          |
| 授業内で 作品や手元を映して説明する時（書画カメラ）  | 教職員の個人情報管理                         |
| 子供たち全体で共有したいとき  | 授業の導入。作品、ノートの投影                    |
| 全校朝会、行事の閉会式等  | 教材提示、宿題等                           |
| 校務の情報化  | 出欠管理 日誌作成 文書作成                     |
| 授業 単元   | デジタル教科書の提示                         |
| 予定表 人事管理 諸連絡 文書・掲示物等作成  | 教員研修                               |
| 校務遂行 データ・報告・資料作成処理等   | 資料の提示、調べ学習                         |
| 授業では主にPC、書画カメラでの資料提示とタブレットでの調べ学習。週末、スタディサルの宿題提出。教材作成、校務でのPC活用                                       | 教科書の内容を大きく提示する                     |
| 研究会・研修会、職員会議、等  | サイドラインの引き方、キーワードの囲み方などの実際を見せる      |
| 電子黒板でデジタル教科書を提示する。課題提示と解説書き込み、適用問題の答え合わせ、作図方法動画視聴、など。大型ディスプレイと書画カメラで児童のノート記述を提示し、考え方の共有と比較検討。       | ネット上の画像を見せる                        |
| 研修：zoomで離れた場所での研修。朝会：zoomで音楽朝会。YouTubeのライブ配信で全校朝会   | 児童のノートを映して、考え方を発表させる               |
| スケジュール管理、記録、他の書類作成、プリント教材のリンク貼り付け、活用、書籍やネットを参考にした自作プリントなど   | ノートなどの記入の仕方を提示するなど                 |
| 教科書に書き込みしたいとき   | 授業の導入・展開・資料提示                      |
| 行事の招待状作り、生活科の学習   | 成績・出欠管理・書類作成など                     |
|   | 学習したことへの復習や学習の説明                   |
|   | 教科指導                               |
|   | 問題演習                               |
|   | 総合的な学習の時間、プログラミング、体育の授業、宿題(スタディサリ) |
|   | プログラムの授業の際に使う。                     |
|   | 映像や画像の提示、調べ学習、宿題等                  |
|   | 授業で資料提示をするとき。                      |
|   | 授業でデジタル教科書を活用                      |

16



## ICT活用の現状

続き。

**Q：主にどのような業務・シーンでICTを活用していますか。また、具体的な活用方法を教えてください。**

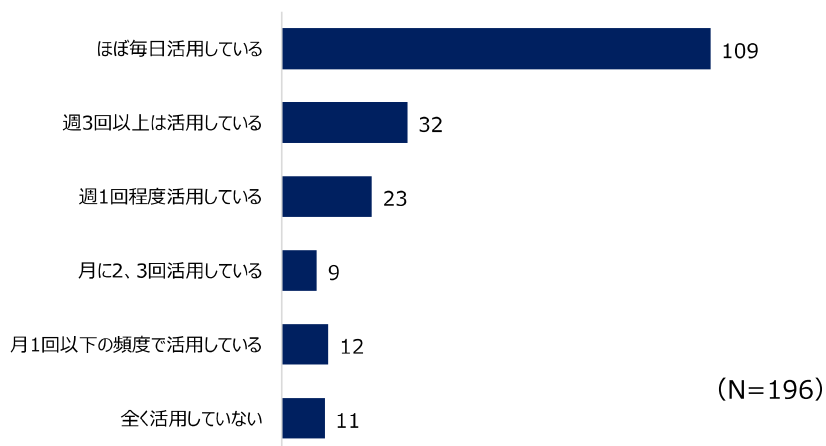
| 回答一覧                             | 回答一覧   |
|----------------------------------|--|
| 授業時教材提示、全校ケース会議                  | 学校ホームページの作成、区教育等との連携、保護者会や評議員会等                          |
| 授業の半分                            | 生徒が活用  |
| 副校長の業務全般                         | 調べ学習   |
| 授業や記録写真等                         | 一人一台配布し、各々が学習のテーマに沿って調べまとめる                              |
| 個別指導                             | 校務書類作成、授業では図や表の提示  |
| 授業、児童集会、クラブや委員会活動、行事             | ICT担当として、全体の研修会や教務部として日々の連絡                              |
| 職員・業務、管理                         | 研修・連絡等   |
| 職員間の連絡                           | 学校業務にかかわる全ての連絡、共有事項と諸々の調査。                               |
| 文書作成、保護者への連絡メール、他部署との連絡及び報告書等の提出 | 授業教材としてのパワーポイント作成、電子黒板での投影。成績処理、スケジュール管理、連絡掲示板、学籍処理等の校務。 |
| 特になし                             | 教材作成、視聴覚教材使用、アンケート（集約含む）、教科指導に関する動画配信（限定公開）、教職員の研修       |
| 文書作成 メール 検索エンジン                  | 学級事務 授業  |
| 授業、アンケートの集計                      | 授業での提示   |
| 校務作業、授業                          | 文書作成及びスケジュール管理   |
| 学校経営に係る校務全般                      | 授業、アンケート   |
| パワーポイント(教材)、スクリーン                | 文法指導   |
| 授業と学校間での連絡や書類の共有について             | 授業の復習  |
| 校内教職員の連絡、他校教職員の連絡、生徒の出欠入力、成績処理   | 図形の動的な提示、数値計算  |
| 授業でデジタル教科書を使っている                 | 授業 家庭との連絡 教材作成   |
| 生徒がタブレットでゲームの様子や動きを撮影し、振り返る      | 授業や毎日の連絡   |
| 生徒情報管理や書類作成など                    | 授業での教材提示   |
|                                  | パワーポイント  |
|                                  | 校務関係、授業  |
|                                  | テキスト作成、授業での資料提示  |
|                                  | 図形のシミュレーション  |

-17

## ICT活用の現状

過半数が自身の授業で毎日活用できている一方で、月1回以下もしくは全く活用していない割合が16%いるため、未活用層へのICT利用のきっかけを与える取組が求められる。

**Q：あなたの行う授業や学級行事ではどの程度ICT（PC・タブレット端末や通信機器等）を活用していますか。**



## ICT活用の現状

研修や機器導入以外に、「先輩教員が使っていた」「教員間の情報共有」といった校内推進による波及が契機となっている事例があり、校内で旗振り役の存在が重要であると考えられる。

**Q：ICTを教務・校務に活用するようになったきっかけは何ですか。**

| 回答一覧   | 回答一覧  |
|--|---|
| 1年目から使用している。効率的に行うことができるから。  | 学校に配備されており、使わないと仕事にならない。  |
| C4thが導入されたから   | 学習のポイントを説明する時にパワーポイントをよく使用するが、一度作れば何度も使えるし、効率が良かったから。また、子供の食いつきも板書より良いと感じたから。 |
| C4thでない職務ができない。資料を提示するのに便利であるため                                    | 活用した方が、効果的・効率的だと感じたから   |
| GIGAスクール構想で一人一台のタブレットが貸与されるため、使用を慣らされるため。また、校務の担当でもあるので積極的に利用している。 | 業務の効率化・情報の共有  |
| ICT教育の普及   | 区のシステム等に応じて活用するようになった。  |
| ICT研修、C4th研修   | 区の方針、作業効率の良さ、生徒の興味関心に応じた授業展開のため   |
| ICT担当になったこと  | 研修があったため。   |
| iPadが導入されたから   | 研修を受けたから  |
| OJT  | 効率化、汎用性、随時性   |
| P.Cを配布されたから  | 効率化を図る。記録の整理に便利。手軽にデータの上書きができる  |
| アンケート集計などの利便性  | 効率的に仕事ができるため  |
| コロナ禍で集めることができないから。   | 校外学習についての調べ学習   |
| コロナ感染症対策   | 校舎が新設されてICT機器が充実したから  |
| コロナ感染症対策で  | 校内環境  |
| デジタル教科書が使いやすい  | 校内研究  |
| デジタル教科書の導入   | 校務支援システムベースの教務。   |
| パソコンが一人一台体制になったから。   | 江戸川区情報教育部で、expoにてたこと  |
| もともと、視覚担当として、区や東京都の研修を受けていたので                                      | 講習を受けたから  |
| もともと使っているから  | 合理的配慮   |
| 会議の時間を短くするため   | 使ってみたら便利だとわかったこと。   |
| 学級全体で情報の共有をするため  | 子どもたちの学習理解に役立つから  |
| 学校にあったので   | 支給されているのだ   |
|  | 紙ベースだけではできない便利な使い方ができるから。   |

19

## ICT活用の現状

続き。

**Q：ICTを教務・校務に活用するようになったきっかけは何ですか。**

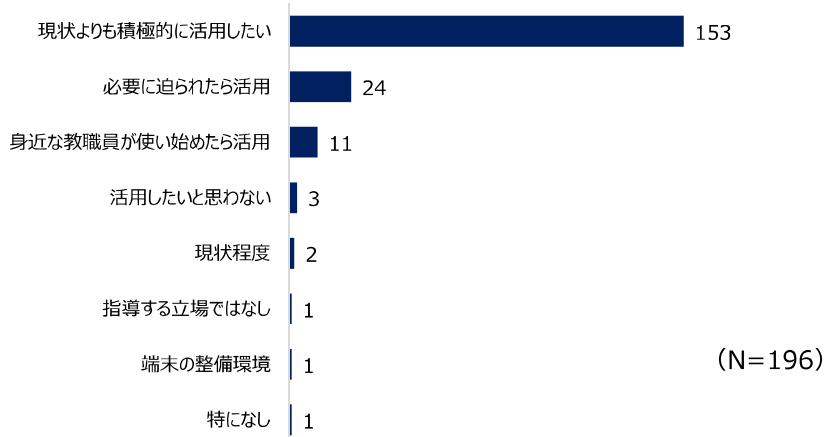
| 回答一覧                              | 回答一覧   |
|-----------------------------------|--|
| 紙媒体の削減、動画視聴                       | 設備がICTを活用できる環境だから                              |
| 視覚的に理解しやすくするため                    | 先輩の教員が使っていたから。                                 |
| 資料活用                              | 前任の区でICT利用が活発だったため                             |
| 児童にとって、分かりやすい授業となるから。便利。時代の流れ     | 前任区で研修を受けて                                     |
| 児童の活動の振り返りや教材提示                   | 端末や付帯設備が充実しているから                               |
| 児童の作成したものを共有するのに密にならずに便利だから       | 着任当初からずっと。                                     |
| 児童の理解力が向上したから                     | 調べたいことをインターネットで調べられる                           |
| 時間の効率化                            | 通常業務がICTなので                                    |
| 時短 便利                             | 通常業務に必要  |
| 実感をもった学習をさせるため(視覚的支援)             | 電子黒板が便利だから                                     |
| 実技のスキル向上、自己分析等で客観的に自己の動きを見るために。   | 都・区の方針   |
| 手軽に使える環境が整ってきたから                  | 導入されたから、当たり前のように活用するようになった。                    |
| 授業での教育効果の向上                       | 導入されているから、使わないともったいないし、また使わなければならないという義務感からです。 |
| 初任で動けた学校が先進校だった                   | 日々の授業で活用するように指示                                |
| 初任校の指導教諭が活用していたため                 | 発表形式にバリエーションを増やそうと思ったこと。                       |
| 書画カメラがあると、どの子にも分かりやすかったから         | 必要だから  |
| 書類・資料作成                           | 設備がICTを活用できる環境だから                              |
| 情報の円滑な共有                          | 先輩の教員が使っていたから。                                 |
| 情報教育にかかわるようになってから                 | 前任の区でICT利用が活発だったため                             |
| 情報提示および収集、書類作成、改編などの操作が簡単にできるから   | 前任区で研修を受けて                                     |
| 職員間での情報共有                         | 端末や付帯設備が充実しているから                               |
| 職場の同僚に教えてもらったこと。                  | 着任当初からずっと。                                     |
| 職務上必要だから                          | 調べたいことをインターネットで調べられる                           |
| 新型コロナウイルス感染症対策                    | 通常業務がICTなので                                    |
| 成績処理                              | 通常業務に必要  |
| 生徒に考える時間を増やせる。データで保存すると次年度にいかしやすい | 評価・評定  |

20

## 今後のICT活用に関する意向

約8割が1人に1台端末実現後には現状よりも積極活用する意向があり、GIGAスクール構想を通じて校内のICT環境が整備されることを契機にデジタル活用が進むポテンシャルは高い。

**Q：生徒1人に1台の端末を配布された場合、どの程度ICTを活用されたいか、お考えをお聞かせください。**



## 今後のICT活用に関する意向

個別学習・調べ学習での活用、意見交換・協働学習でのコミュニケーションの場として利用したいとの回答が比較的多く、主体的・対話的な深い学びへの貢献が期待される。

**Q：具体的にどのような用途向けに、現状よりもICTを活用されたいとお考えですか。**

| 回答一覧  | 回答一覧  |
|---|---|
| 生徒のためになるならば   | 学習内容に関係した情報収集。板書を撮影して個人で保存  |
| ・連絡帳のようなコミュニケーションツールとして   | 活動内容を記録したり、授業や校外学習でワークシートのように活用する。  |
| ・ドリルのように習熟を図るツールとして   | 基礎基本の習得   |
| ・個人面談や保護者会をリモートで行うツール   | 休校や休みの生徒に対するコミュニケーションの場   |
| 1人1台で、Web上での意見交換  | 協働的な学習の場面で、取り入れていきたい。なぜならば、便利だし、容易に保存もできるので。  |
| ICTを使うことで、授業への興味を持たせる   | 教科指導におけるノートと併用した活用 教員業務の進行管理 休校時の対応。  |
| キャリアパスポートなどによるキャリア教育の充実や学年・教科の縦断的・横断的に行うカリキュラムマネジメントの実現のために、学習記録(ポートフォリオ)を有効活用できるようにしたい。一人一台だからこそ、自分の記録を電子的に貯めて、いつでも活用もできるようにすることで、今よりも | 教材提示や児童の考えを共有するときに活用したい。  |
| より他教科同士の学びをつなげたり、過去の学びと現在をつなげたりするようにしたい。  | 業務作業短縮  |
| こちらが作った資料や教材を一瞬で全体に共有したい時   | 業務連絡・調整   |
| シミュレーションや発表の場   | 今後授業で活用するに、各教科担当が少しでも工夫できるよう支援したい。  |
| ドリル教材を活用したり、協働的な学習やプログラミングの授業等  | 個に対応した学習を展開させたい。  |
| ノートの代わり、テスト前の復習、単元の予習   | 個人に最適な教育を行うためにICTを活用する。例えば、文字を書くことが苦手の児童は、タブレットで文字入力し、自分のノートを作ったり、文字の習得が困難な児童には、従来のプリント学習でなく、その児童に合ったアプリなどで、効率的に楽しみながら学習するなど。 |
| ノート代わりに記録をとる  | 不登校支援のための活用。これだけ、SNSが発達した世の中です。不登校で苦しんでいる児童生徒とその保護者が、学校と繋がるツールとしてICTを活用するべきと考えます。   |
| リモート学習等   | 個人の考えの共有、家庭学習など   |
| わかりやすい授業  | 個別化やコミュニケーションツールとして   |
| 家庭学習、ドリル学習  | 個別学習や授業中の発表の場面など  |
| 家庭学習のツールとして   | 個別学習時 視覚支援の指導や、読むことが苦手な児童に読み上げ機能による学習方法   |
| 課題などに   | 更なる校務改善   |
| 会議  | 考えの学び合い、調べ学習の共有・評価  |
| 各教科で動画視聴、調べ学習など。  | 子どもたちの考えのアウトプットツールとして   |
| 学習したことを習熟させるため。   | 児童が積極的にICTを活用し、主体的に学ぶようになるため  |
| 学習のツールとして毎回の授業と家庭学習で活用  |   |
| 学習全般について  |   |

## 今後のICT活用に関する意向

続き。

**Q：具体的にどういった用途向けに、現状よりもICTを活用されたいとお考えですか。**

| 回答一覧   | 回答一覧  |
|--|---|
| 児童の考えを共有できるように                                       | 宿題を出す。プリントや手紙等をオンラインで配布。調べ学習。児童にとりたいアンケートをオンラインで配布、集約。タブレットで新聞やリーフレット作り。プログラミング教育 |
| 児童の情報共有  | 瞬時に児童の考えが把握できるようにするため   |
| 児童活動の指導  | 情報発信（校内だけでなく、保護者や地域等）、統計（アンケートの集約や分析等）  |
| 児童相互の考えを交流させたり、協働作業での作品づくり、早く課題が終わった児童への追加課題のドリル教材など | 職員の出退勤管理・生徒の出欠管理・保護者との双方向情報共有   |
| 辞書や検索機能を使う   | 成績管理、自主学習、調べ学習。   |
| 実技の試技等を授業外でも視聴できれば、次の課題への予習として活用したい。                 | 生徒が学習に活用（コミュニケーションや思考ツールなどの双方向型あるいはGoogle formのような採点、集計などの作業の効率化）                 |
| 授業 調べたりまとめの発表プレゼン                                    | 生徒の意見の発表、インターネット上での補助教材の配布  |
| 授業 保護者の出勤欠席の連絡                                       | 生徒の協働学習、テスト、宿題、資料配布（紙媒体からの脱却）、担任業務に関わる資料の集約、職員会議資料の送受信                            |
| 授業で、子供同士で考えのやり取りをしたり、発表のときに効果的に活用したりしたい。             | 生徒の健康管理、登校前に検温、入力、担任に送信   |
| 授業での一斉指導・協働型学習、行事等                                   | 生徒の自主的なドリル学習と、事前事後課題の一斉提示と回収。   |
| 授業での生徒の意見を取り上げる際など                                   | 生徒管理や家庭情報共有など   |
| 授業で活用したい   | 創作  |
| 授業で個別に活用させる  | 体育で自分の運動の仕方を友達にとってもら。生活科や総合で、写真をとったり調べたりまとめたりする。                                  |
| 授業で調べ学習等   | 単元の充実   |
| 授業ノートの活用   | 担任不在時、個別の学習時や他の児童対応時、家庭学習での自学自習   |
| 授業のデジタル教材の使用頻度、使用教科を増やす                              | 朝学習、宿題、授業での動画視聴等  |
| 授業の課題  | 調べることや学習の資料提示などに使用したい。  |
| 授業の中で活用したい   | 調べ学習 外国語活動、体育等の実技の動画撮影、ドリル学習  |
| 授業や、オンライン学習の活用                                       | 調べ学習 生徒一人一人の学習ペースに合わせた自主学習の推進 等   |
| 授業や学校生活全般  | 働き方改革   |
| 授業や授業準備  | 日頃の学習支援に対する効率的な運用   |
| 授業中のドリル学習や宿題   | 日々の生徒の活動記録  |
| 授業中の様々な学習活動において                                      |   |
| 授業内で、生徒に映像を見せる                                       |   |
| 宿題の提出の確認、授業終末の簡単な振り返りの記入                             |   |

23

## 今後のICT活用に関する意向

生徒がICTを活用することに対するネガティブな意見として「手書きによる学習活動の必要性」、「視力低下の懸念」といった意見が挙げられている。

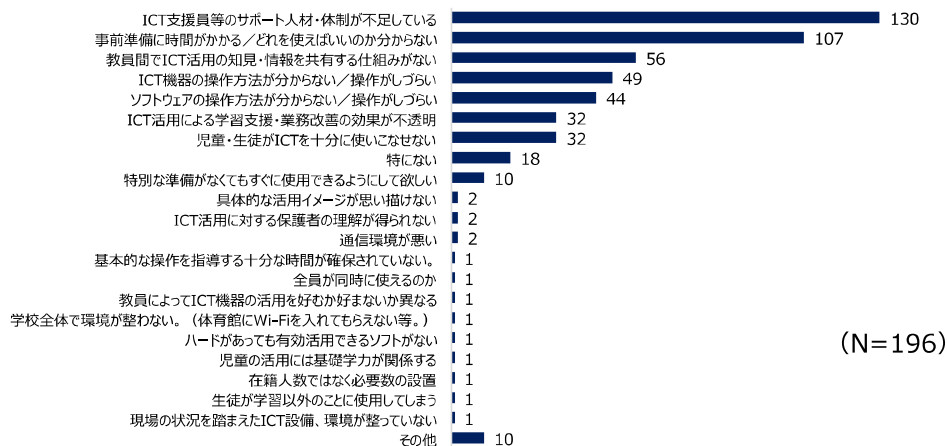
**Q：「現状以上に活用したいと思わない」「今後も活用するつもりはない」を選択した理由をお聞かせください。**

| 回答一覧   |
|--|
| 使いこなすのが難しいから   |
| 校務   |
| 先程記入しましたように、自分のできる限りの活用はしたいと考えます。  |
| 現状でもI.C.Tが普及されていないから   |
| 学習効果が期待できる活動では、今でもタブレットを使うことがある。でも、鉛筆でノートに書く活動は、学習の基本としてとても大切だと思うから。                                 |
| 今回の休校期間に児童の視力が著しく低下したため、必要以上に導入をしたいと思わない。学級の半数以上が眼鏡を使用している。現在でもその状況であるのに、これ以上活用したらどうなるのか。            |
| また、画面上での学習は復習には適当であるものの、定着には向いていない。画面が切り替われば学習したことが視覚的にも残らず、記憶にも残りにくい。特別支援の児童が増えているため、じっくりと丁寧に学ばせたい。 |
| 現状も活用している  |

## ICT導入に向けた課題

現場でサポートする人材・体制の不足及び事前準備を含めたツールの活用方法への不安が課題認識として大きく、序盤はきめ細やかなサポート体制が必要と想定される。

**Q：現状よりもICT利用を推進するにあたり、スキル・普及体制の面で大きな課題となることは何だと思いませんか。（最大3つまで選択可）**

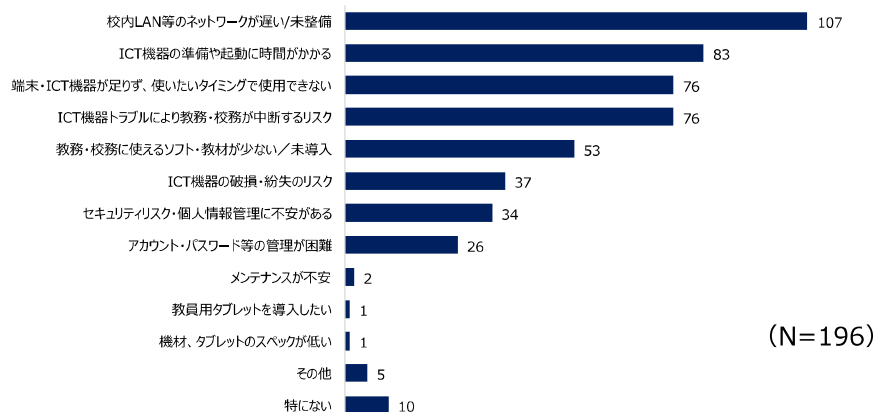


25

## ICT導入に向けた課題

校内ネットワークの速度やICT機器準備・起動等、限られた時間で授業を行う教員にとって時間のロスがICT利活用推進を阻害する要因になりうる。

**Q：現状よりもICT利用を推進するにあたり、ハード環境の整備・管理・運用面で大きな課題となることは何だと思いませんか。（最大3つまで選択可）**

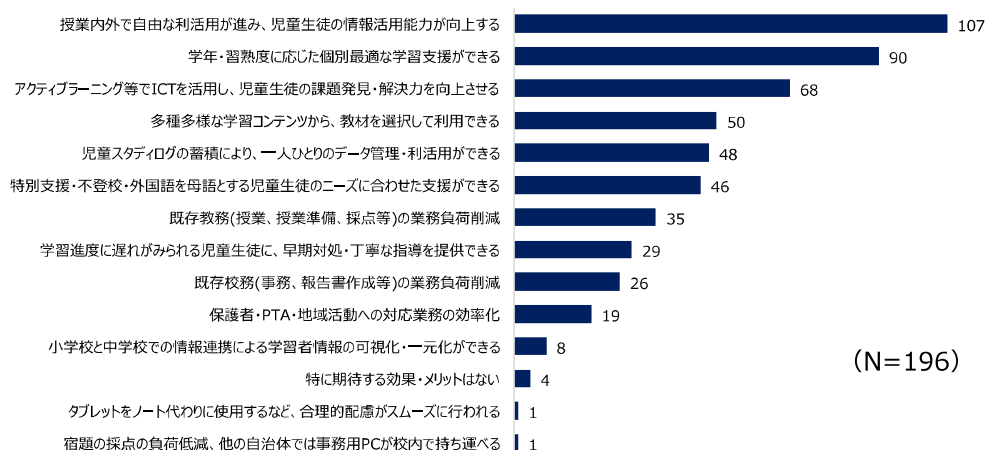


26

## ICT推進に関する期待

児童生徒の情報活用能力向上や個別最適学習支援に対する効果を期待する回答が多く、ICT推進による教員自身の業務負荷軽減よりも児童生徒の学習効果向上を求める傾向。

**Q：ICT利活用の推進に対し、どのような効果・メリット期待していますか。（最大3つまで選択可）**

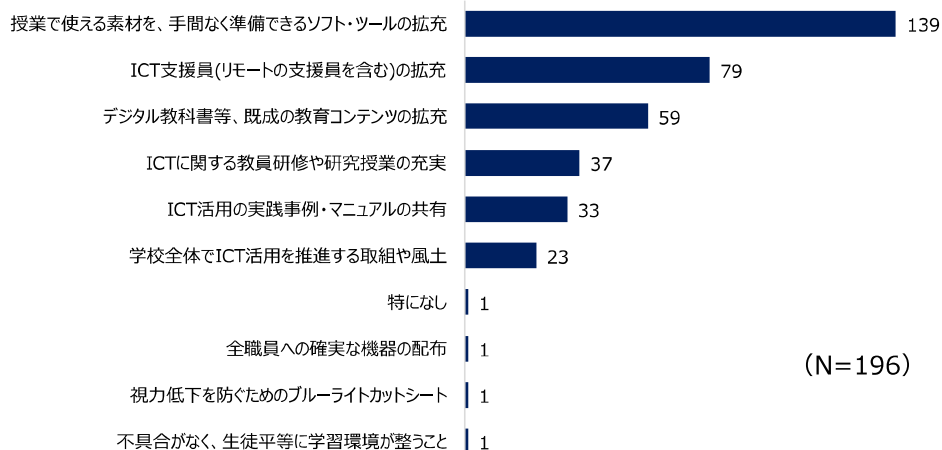


27

## ICT推進に関する期待

効率的に授業準備・進行ができるソフトウェアの拡充が求められており、複数のコンテンツからそれぞれに合った教材・素材をピックアップできるプラットフォーム型の支援ツール導入が重要。

**Q：今後ICT活用を推進する際、どのようなサポートを拡充してほしいと思いますか。（最大2つまで選択可）**



28

## ICT推進に関する期待

ICT教材については、現状も活用割合が高いデジタル教科書の利用希望が最も多い他、ドリル教材の充実へのニーズが高く、授業や個別学習支援となるソフトウェアへの期待が高い。

Q：今後どのようなソフトウェアの利用を希望しますか。（複数選択可）



29

## ICT推進に関する期待

学習・業務の補助的活用、場所を選ばないリモート会議・研修会や遠隔授業等、児童生徒・教員が日常的にどこでも自由に活用できることが求められている。

Q：具体的に、どのようにソフトウェアやツールを活用したいと思いますか。

| 回答一覧  | 回答一覧  |
|---|---|
| e-Learningサイトでの個別学習とワンノートなどの情報共有ツールを使った話し合い活動               | 学校評価集計ソフト   |
| Googleの様々なソフト   | 学習ソフト（スモールステップのドリルなど）を個々の学習支援で、Google スプレッドシート、Microsoft Office などの文書作成ソフトを協働作業で。                 |
| PowerPoint、zoom、グループ学習ツール                                   | 学習の補助 授業導入時の教材 保護者との連絡  |
| zoom  | 学習指導で活用したい  |
| zoom スタディサプリ  | 学習支援ツール(教科書読み上げソフト デイジー、漢字、お金、計算等)撮影した写真を無線でプリントアウトできるようにしたい、特別支援教育で活用できるソフト(ビジョントレーニング、タイムタイマー等) |
| コラボノート  | 学習者用デジタル教科書、特別支援系の教材となるツール  |
| システムサポートなど  | 気軽に取り組めるとありがたい。   |
| ジャストスマイルの最新版は機能豊富だった。                                       | 教員も児童もツールを使うことが当たり前になるようにする   |
| シミュレーション  | 教科書、ノートは全てタブレット。紙を使わない。配布物もデータで送る。  |
| すさまじい問題演習などの自主学習や補強時の課題、感染症時の記録、感染症予防や特別な事情がある場合での欠席時の授業の参加 | 業務削減につながるように効果的に活用したい   |
| タブレットなどで成績を入力して、学期末のあゆみに反映できるもの                             | 動怠・動静管理がすべて簡単な操作でできるツール。  |
| だれでもいつでも担任が変わっても、都内全体でどこでも活用できるもの                           | 個々の学習状況の改善に活用していきたい   |
| データ収集とその解析や分析を行い、具体化させるための方策提案機能                            | 校内どこからでも同じファイルにアクセスし、情報共有および協働作業ができるようにする。  |
| デジタル教科書   | 校務の効率化を全校で行う  |
| ドリル教材として、動画視聴、調べ学習  | 今、指導者ではないので、具体的に考えにくいです。  |
| パワーポイント   | 再び休校になることを想定し、遠隔授業が実施できるように。また、普段の行事でも遠隔放送などできるよう活用したい。   |
| リモートによる会議・研究会 等   | 在宅での学習機会の促進   |
| ロイノート、Googleフォーム  | 子どもたちがよりわかりやすい授業を行えるようにする   |
| ロイノートスクール、スクールタクトやメタモジラスルームなどの共同学習支援ソフト                     | 紙媒体の教科書の活用がデジタル教科書を併用して児童に示すことで指導内容理解が深まる。  |
| まなbox、Classyやまなびシートなどのeポートフォリオシステム                          | 児童の学力向上のため  |
| ワークシートのデジタル化、通信等のデジタル化、欠席連絡等のメールシステム                        |   |
| ワード、ie  |   |
| 一部の人だけでなく講師や支援員も使いこなせるもの                                    |   |

30

## ICT推進に関する期待

続き。

**Q：具体的に、どのようにソフトウェアやツールを活用したいと思いますか。**

| 回答一覧   |
|--|
| 授業、学級生徒への連絡掲示板など   |
| 授業：児童個人の思考過程を全体で共有。グループ学習でテーマ別の発表(資料作成・検討活動含)。採点・添削。全網羅的な評価管理。                                 |
| 授業外：各種通知(学校便りや学年便り含)。出席管理。宿題・提出物管理と進捗把握。連絡帳代替。自由研究(長期休業に限らない自主学習の研究への進化)。学校に押し付けられているチラシ類の全撤廃。 |
| 授業での活用   |
| 授業で生かしたい   |
| 授業場面   |
| 授業内の効果的な場面で活用したい   |
| 宿題をソフトウェアを使って出す。情報収集のツールとして利用させる   |
| 出欠管理、メッセージ、連絡ツール   |
| 出張に行かなくても他校の先生たちと意見交換ができるようなテレビ会議ツール。ストップモーションアニメが撮れるアプリ。                                      |
| 生活の一部として常に活用したい。   |
| 生徒の意見交換  |
| 誰でも簡単に活用できるとよい   |
| 動画   |
| 特別支援学級では、日々の授業で使える、一人一人に最適なドリル教材   |
| 問題演習系  |
| 遠隔授業によるZOOMオンラインの活用  |
| 各教科のデジタル教科書を個別の端末に置くことで、児童の負担が減る   |
| 児童や教員が自由にアプリをインストールして必要なものを必要なタイミングで学びに生かせるようにしたい。   |
| 時間の短縮、働き方改革  |

31

## ICT導入に向けた意見・要望

研修等による情報共有の機会は一定あるが、実際に活用が進んでいる場合とそうでない場合があり、身近に一緒に取り組める同僚がいる教員ほど効果を実感している印象。

**Q：ICT活用に関する情報共有の機会はありましたか。また、情報共有の機会以降活用が進むなどの効果はありましたか。**

| 回答一覧  |
|---|
| 放課後に話題になった程度で効果はそれほど  |
| 報告のみあった。  |
| 必要なタイミングで聴き合うことはあるが、同様の内容が波及する気配はなかった。あくまで一過性であり、同じことを何度も聞く人が続く。  |
| 年度当初に一度、はい  |
| 年一回のICT研修を実施している。   |
| 動画の作成、配信は効果がありました。プログラミングも理解が進みました。                               |
| 都での開催されているプログラミング教育の講座を活用できるので、校内で共有する                            |
| 担当者によるミニ研修は度々ある。ズームやスタディサプリの活用は進んでいる。                             |
| 担当教員に教えていただき、使えるようになってきたり   |
| 操作方法の伝達のみで手一杯のため、効果は薄い  |
| 専門家に研修していただきましたが、サポートがないと一人でではできませんでした。                           |
| 生徒のスタディサプリの活用ができた   |
| 推進教員の具体的な説明により進む  |
| 情報担当主導で校内研修を行なったが活用の頻度などは大した変化なし                                  |
| 情報教育担当を中心に活用に向けた研修を実施。授業での活用が広がってきた。                              |
| 情報共有はできたが、具体的な活用方法はわからない  |
| 情報共有の機会はあるにはあったが、担当者1人が抱えて、全て行っているため、担当者の異動などにより一気に活用が減ることが懸念される。 |
| 情報共有の機会はあまりない   |
| 情報共有の機会がありましたし、授業での活用が進みました。                                      |

| 回答一覧  |
|---|
| 十分に効果が望める   |
| 十分にあり。効果もある。  |
| 週案や成績管理に活用した  |
| 実施したが、進展はない   |
| 時間を作ったので全体の共有の機会もあったが、一番良いのは放課後個人的に使用方法等を教え合うことが効果的でコースにもあったものであった。 |
| 使えない人がそのままの状態   |
| 今のところ必要に迫られておらず活用はさほど進んでいない。  |
| 行った。何人かの先生がICT機器を積極的に活用してくれたり、遠隔ツールを使用して集会を運営したりしてくれた。              |
| 校内研修会を実施している。   |
| 校内研修会でH.P.作成や更新が進んだ。教材の紹介で授業で活用した。                                  |
| 校内にて、休校中の動画作成研修、zoom研修を行い、全校的に動画作成をしたり、zoomを使ったりすることができた。           |
| 校内で研修会があった。あまり活用が進む様子は見られていない。                                      |
| 校内で研修を実施し、効果があった。   |
| 校内でのミニ研修会を実施した  |
| 効果があり、進んだが、担当教員の負担が大きい  |
| 個別にわからないことを聴いている  |
| 現在ではできる先生とできない方がいる。できない方がやるようにするに難しい。                               |
| 研修受講後の伝達研修を行っている。   |
| 研修会を実施している。長期休業中の宿題に利用する予定。   |

32



## ICT導入に向けた意見・要望

続き。

**Q : ICT活用に関する情報共有の機会がありましたか。また、情報共有の機会以降活用が進むなどの効果はありましたか。**

| 回答一覧  | 回答一覧  |
|---|---|
| 研修は、あったが情報が先生たちの実態に合わなかったり、操作が一同に起動しなかったりと、活用するまでにはいかない雰囲気だった。                                      | ミニ研修を開催している   |
| 研修において活用方法が分かったが、他の業務が多く、研修の充実が厳しい。   | ミニ研修があった。情報は知ったが使ってはいない。                                |
| 研修で学んだことを授業で実践した。   | ほんの少しはあったが圧倒的に足りない。できないものを気合いでやれというのが理解できない             |
| 具体的な内容で実施するとすぐに活用している姿が見られた。  | プログラミング教材、ミライシードなどの研修があった                               |
| 教室のICT機材はじめ周辺機器の使用方法研修、各学年のプログラミング学習打ち合わせ、都のオンライン学習伝達講習を実施。回線や機材のトラブル相談に日常的に対応しているので活用されていると言えるのでは。 | 一年生担任なので、支援員と写真の撮り方、ミライシードの使い方を指導した程度                   |
| 教員研修  | プログラミング教育の「事前授業」として、複数回研修会を実施した。                        |
| 教員ではないので、研修は受けていません。  | なかなか機会を設けられない。  |
| 機器の使い方は、身近な同僚から教えてもらった。教えてもらった後、自分で何回も使っていくと、活用が進んだ。  | ドリル学習は活用している。   |
| 個人的には、民間の(端末の活用に関わる)プロジェクトに参加し、事例研究を通して研究した事が有益だった。   | チームティーチングやOJ Tで先生方の使い方を見て、学び教え合いがあり、活用するようになった。         |
| 簡易的なものが一度。詳細な講義は数日後に予定されている。  | そういう機会があり効果はあった。  |
| しかし、良いマニュアルがないので、一度聞いただけでは理解しきれないところがある。  | あるが実践までに準備時間があるので取り組む人にはばらつきがある。                        |
| 学級の中で年度当初に行った。巡回の為、在籍校に拠点と同じようなiPadの環境整備を依頼し、同じように使える環境にした。結果活用が進んでいる様子が見られる。                       | ある。一定の効果はある。  |
| 何度かあった。   | ありましたが、活用は特に進んでいません。                                    |
| 一人一人の意識が高まった  | ありました。徐々に効果がでてきました。                                     |
| 一応あったが、どのくらい広まったかは…   | ありました。活用は進みません。   |
| ミライシード等の情報共有があり、活用推進に役立った。  | ありました。学年で一緒に取り組むことができました。                               |
| ミライシードの活用   | ありました。効果もありました。   |
| ミニ研修を実施した後、活用が進んだ   | あったが、端末数が増えないので効果は感じない。児童に端末を取りに行かせたり片付けたりする時間がかかってしまう。 |
| ミニ研修を行い効果がありました。  | あったが、自分があまり使いにさせていない。                                   |
|   | あった。多少の効果はある。   |
|   | あった。効果はある。  |
|   | あった。一時的な効果はあった。   |

33

## ICT導入に向けた意見・要望

続き。

**Q : ICT活用に関する情報共有の機会がありましたか。また、情報共有の機会以降活用が進むなどの効果はありましたか。**

| 回答一覧  |
|---|
| あった。ソフトウェアの使い方を学び、活用できた。  |
| あった。  |
| 少しずつ活用場面が増えてきている。   |
| zoomなど何かが導入されるときは説明があった   |
| OJTで、何度かあった。  |
| 自分は、活用するようになった。   |
| ICT支援員による研修の他、必要に応じて使い方の研修を実施。その後、使用頻度は向上した。  |
| ICT研修の実施、教員の活用が進んだ  |
| I C Tの校内研修会を開き、効果はあった   |
| 4校を巡回しているのでわからない。   |
| 3年ほど前、生徒個々の意見全部を可視化できる道徳授業の研修。一部の教員がその後活用した。全員の意見等が一齐に同時に見られ、個々の思考に影響を与えたと思われる。           |
| 1 0 / 1 3に区でありました。(この質問があること自体が縦割り行政を表しています。)翌日に自校で行いました。皆さん知識は得ましたが、活用するまでのレベルにはなっていません。 |
| ありました。意識は持てました。   |
| 少し見られ始めているが、十分とは言えない。   |
| 研修はあった。活用は少しずつ進んでいる。  |
| 研修はあったが、ハード面が未整備なため活用は進んでいない。   |
| 研修で学んだことを授業で実践した  |

34

## ICT導入に向けた意見・要望

学校の環境面の課題と教員のICT活用能力差が多く、環境改善・整備後は早期に教員のスキル向上につながるサポート体制構築が必要であると考えられる。

**Q : ICT活用に関して、現在あなたが教育現場で特に大きな課題と考えていることはありますか。**

| 回答一覧   | 回答一覧  |
|--|---|
| <p>誰でも取り組みやすい環境にないこと</p> <p>「使える人だけが使う」という状況から抜け出せないことです。使えない人が使えるようになるには、それだけの時間と心の余裕が必要ですが、目の前にあることを片付けるだけで勤務時間が終わってしまう現状では、ほとんどの先生はスキルを身につけることは難しく、来年からGIGAスクールで大きな教員間、学校間格差が生まれることは間違いないでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理の徹底が難しく、いつも何台か見つからなかったり、タッチペンの不備があったりすること。不備を確認しタブレット庫が教室と離れているので取りに行くのにも時間がかかる。</li> <li>・電波の不具合等で活用出来ないことあること。授業が進まなくなるので、紙ベースでも拡大掲示等を用意するため、紙の削減には繋がらない。</li> <li>・家庭より端末の準備状況にかなりの差があること。保護者からミライシードで漢字等の書き取りの課題を出しても、認識されないという意見があった。その後本校では書き取りの課題を出さないこととなったが、出題出来ない課題があるというのは不自由。</li> <li>・児童それぞれにIDやパスワードを配付することで、紛失したりミスをしてログインできなくなり対応の負担が増えた。情報教育担当は、都度対応を行わなければならない、大変。</li> </ul> <p>①巡回専用として扱えるタブレット端末がないこと。そのため子供の個人データ(課題を取り組む姿等)の蓄積が難しい。変化の様子などを映像で蓄積し成長の過程を見せたいが、端末は学校全体での共有物となるため、毎回削除せざるおえない。②端末が一人一台になった時の管理方法。現状でも担当者の負担が大きいに感じる。</p> <p>ICTに関する基本的な知識や技能を身に付けてないまま現職に就いている人が、年齢に関わらず多数存在すること。教員試験の内容に必要な事項として盛り込むべき、現状はICT技能検定等の資格保持者を優先的に採用するといった対策が必要。</p> <p>ICTを活用することで知識偏重になりすぎないように、使い方の工夫が必要だと考えている。</p> <p>ICTを苦手とする教員のケア</p> <p>ICT機器に対するアレルギー(？)のような感情を持っている教員が多い</p> | <p>ICT担当になった教員に負担が非常にかかる。</p> <p>iPadやタブレットが使いたい時に直ぐに使えない。(台数が限られているし、予約制なので)日々の業務が多忙過ぎて、じっくりICT活用について試したり、同僚に尋ねる時間がない。</p> <p>iPadを児童1人に1台ほしい。</p> <p>PC不具合が起きた時の対応が不十分</p> <p>TPCが各階に設置されてなく鍵のかかった4階の個室に保管されている。校内で何度も要望しているが、反対があり改善されない。</p> <p>Wi-Fiのネットワークが非常に脆弱で、クラス内で利用した時に半数がネットに繋がらない。タブレットを貸出ししている関係で、必要な時に使えない。</p> <p>保護者の支援がなければ低学年が家庭で学習することはかなり難しい。共働きをしている保護者のもとで、どれだけ子どもが使用できるのか。既存のタブレットを貸出ししても使いこなせなければ意味がない。だが、休校していた時の学習の遅れを取り戻すのが精一杯で新たに使い方をなどを丁寧に教えている時間、人材が足りない。ポタナーでミライシードやスタディサブリにアクセスできるようにしたり、進研ゼミのように専用の機器がないと難しいと思う。</p> <p>スキルやハード面の環境格差、トラブルが起こってもすぐに解決できる環境が無</p> <p>スタディサブリの活用頻度を向上させる</p> <p>セキュアな通信環境</p> <p>セキュリティ、モラル、スキル</p> <p>できる子どもはできる家庭はいいが宿題すらできないやらせられない家庭が多くある</p> <p>タブレットを配れば全部大丈夫と考えているのが現場から乖離している</p> <p>様々な問題を抱えている児童や家庭への支援になっていない</p> <p>できない子どもでできない家庭により負担を強いることになることに対してどう考えているのか</p> <p>教員に責任を押しつける</p> <p>最終的には気合いで働けみたいなことにならないようにしてほしいです</p> |

35

## ICT導入に向けた意見・要望

続き。

**Q : ICT活用に関して、現在あなたが教育現場で特に大きな課題と考えていることはありますか。**

| 回答一覧  | 回答一覧   |
|---|--|
| <p>どう使えるか、どう活かせ、生徒の学習環境をいかに工夫するか各教科担当によって差が出てしまうこと。</p> <p>どのように活用すれば効果的なのかわからない</p> <p>ネットがつながりにくく、調べ学習が中断してしまう。</p> <p>ネットワークが安定するのか。学校の規模が大きいくところは人数次第でパンクするのではないかとネットワーク回線(速度・同時接続数)の強化。接続できずに活用できない事例が多々ある</p> <p>ネットワーク環境の脆弱性、機器の管理</p> <p>パソコンを二人1台ずつ児童が持つことに関してのルール作り</p> <p>ベテラン教員の意識改革</p> <p>まずは、全教員が活用できるよう基礎スキルアップ</p> <p>まず教員が積極的に使ってみる実行力</p> <p>まだまだ手軽さが無い</p> <p>やり方がイマイチわからない</p> <p>家でも仕事ができること。忙しい中で頼んで教えてもらわなければならないこと。</p> <p>家庭のWi-Fi環境の差</p> <p>学校にあるタブレットが使いつらい。スタディサブリは知的固定の生徒には難しい小学低学年の教材を入れてほしい</p> <p>学習課題として、授業改善として必要だと思うけれど、実際に動き出そうところまでは、人的・時間的リソースが足りない。</p> <p>活用する技能を磨きたい</p> <p>活用できる端末が不足、回線が細い。管理が大変。活用の具体的なイメージがつかないなど。</p> <p>活用場面の具体例が不足している。機器の管理ができていない</p> <p>活用方法についての研修機会の確保</p> <p>支援員やタブレットの台数が足りないなど、使いたいときに使える環境。</p> <p>機器、ネットワーク環境、アプリ、クラウドなどの整備</p> | <p>機器のサポート</p> <p>機器の管理、サーバーの増強。実践事例の積み重ね</p> <p>機器の操作法に個々の課題があり、一律に取り扱える状況に高めること。</p> <p>機器の台数不足とネットワークの脆弱さ(回線の遅さなど)</p> <p>機器やソフトの操作方法の習熟</p> <p>機器やパスワードの管理利用促進</p> <p>機器的な面ですが、インターフェイス、通信環境に弱い面がある。</p> <p>規制が多すぎる</p> <p>軌道に乗るまでの準備にかかる時間と人の確保</p> <p>教員によって使用頻度がちがう。</p> <p>教員のスキル</p> <p>教職員の中で活用できる(メリットがあると思っている)人とできない(メリットがないと思っている)人の差が大きいため、学級や学年間によって、ICT機器の使用頻度が子供によってバラバラ</p> <p>教職員全員がICT活用を進めようとしている意識。</p> <p>苦学意識をもつ教員のクラスとそうでない教員のクラスの利用の差が大きい</p> <p>繋がらない。</p> <p>個人情報やタブレットの取り扱いのマニュアル</p> <p>個別の学習になったとき、担任一人で対応するのは、とても大変。今より、仕事量が増える気がする。利便性の高い使い方を、私自身がイメージできていないだけかもしれない</p> <p>効果がどこまで得られるか。</p> <p>効果的な活用法が、今一つ分からない。</p> <p>校務支援システムと教室でのシステムが一致していないと、結局保護者との連絡も、欠席の確認も、成績処理も二度手間になる。一元化が必要。</p> <p>使いこなす練習する時間がない</p> <p>使いたい時に、機器に不具合が生じること。</p> |

36

## ICT導入に向けた意見・要望

Q : ICT活用について、学校運営側・教育委員会に伝えたいこと・要望などがありますか。

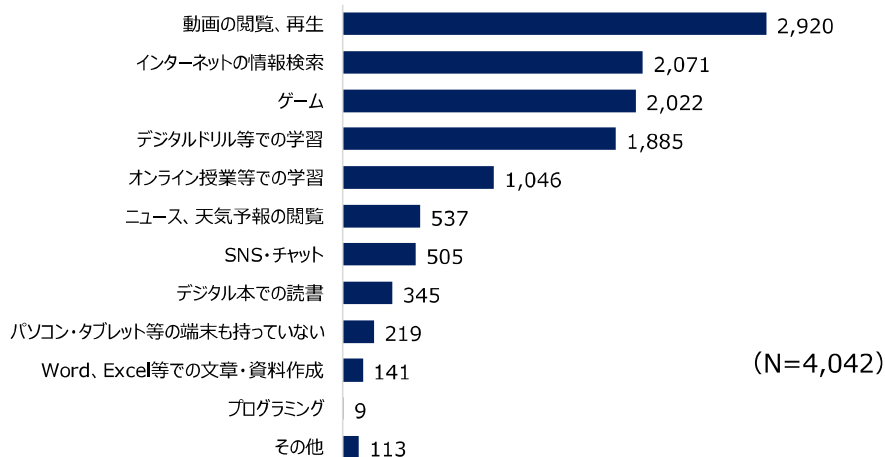
| 回答一覧  | 回答一覧  |
|---|---|
| 使い方の知識不足  | 新たに導入されるソフトウェアや機材への習熟   |
| 使ってみようという一歩が踏み出せない。調べたり、触ってみたりする時間が惜しく感じてしまう。   | 人間関係の希薄化に結び付かないよう、人が行うべき大切な役割を残すこと。   |
| 使わない人はずっと使わない事  | 数年で陳腐化するICT機材とソフトウェア開発速度に対して、教育界のスピード感では対応しきれない。また、現状の日本教育には人数的・予算的リソースが圧倒的に足りない。教育のICT化には技術的には黒板と教科書とノートによる一斉授業形式から革新的に変化する可能性はあるはずだが、文科省にそのグランドデザインがあるのか不明。 |
| 子供のICT活用能力の差。   | 生徒が活用できる環境づくり(ソフト、ネット環境)  |
| 子供のスマホ、タブレット依存に拍車をかける。ictをつかうことが必ずしも良いことなのか。  | 生徒だけで使用できるような環境作りを整えること   |
| 私みたいにICT活用が苦手な教員がいる   | 生徒と教員に一台のタブレットがないこと。  |
| 資金不足  | 生徒のコンピュータスキルが低いのでそれをまずやらねばならない  |
| 資料の作成に時間がかかる。   | 生徒の能力差をどうするか  |
| 児童・保護者ともに使用にあたってのルールを共有すること   | 生徒数に対するICT機器の少なさ。活用したくてもできない。教員によって活用能力に差がある。   |
| 児童が扱う際の破損などの事故、および新型コロナウイルス等の感染症問題  | 積極的に活用しようとする人が少ない   |
| 児童が毎日タブレットを持ち帰るとなると、ランドセルに入れる中身も再考する必要がある。  | 設備の充実と指導者   |
| 児童用タブレットについては、充電地の寿命劣化による問題が一番大きい。  | 前にも記入しましたが、基礎学力をおろそかにしないことだと考えます。   |
| また、教員間の活用スキルの大きな個人差が問題である。  | 全員が同じスキルで活用できるようにすること   |
| 校務支援の面では、教育委員会等とのやり取りが①庁内ポータル、②個人メール、③校務支援システム内の掲示板・個人連絡と3つもあり、一本化されていないので、使い勝手が悪すぎる。     | 全教員間での、共通理解。どの程度、どのように利用するのか。   |
| 時間や手間のロスを少なくしたい。  | 操作等でわからず、逆に時間がかかるなど教員の負担がこれまで以上に増えることが課題  |
| 自分自身のICT活用能力  | 大切な機器で丁寧に扱う指導を1年生からきっちりやりたい。ある部分を児童に任せるにしても   |
| 自由に購入出来る資金  | 所定の場所に収納されているかどうかを教員の手元で簡単に確認出来るような素晴らしい。   |
| 実際に使用してから課題が見つかると思う   | 端末の台数の不足、ICT機器が古いことにより活用しづらいものになっている。   |
| 授業準備にかかる時間が増えた。国語のデジタル教科書が重すぎて、起動するまでの時間を考えると、活用することを断念してしまう                              | 保護者の認識格差  |
| 授業準備に時間を要する。  | 通信環境の悪さ   |
| 書く作業が減ってしまうことです。  | 定期的に活用できないことや効果がどの程度出ているかのフィードバックがないこと  |
| 情報担当教員の仕事や役割の増加   | 同じ高速のWi-Fi環境がない場合、双方向通信は難しい。途切れる。情報モラルの育成と  |
| ICT機器を活用すること自体が目的になってしまいがちであること。生徒の力を伸ばすことが目的で、そのため手段の一つとしてICT機器を有効ならタイミングで活用することができるかが重要 | ルール作りも急務。   |
|   | 文房具のように活用とあるが、どのようなもの想像しにくい。  |

## 北区保護者アンケート結果

## 家庭における子どものPCやタブレット使用用途

「動画の閲覧・再生」が7割・「ゲーム」が5割と、学習以外での端末利用頻度が相対的に高く、今回配布する端末の“学習用の端末と”しての位置づけを保護者に理解頂く必要がある。

**Q：現在、お子様はご家庭でパソコンやタブレット端末をどのような用途で活用していますか。（複数選択可）**

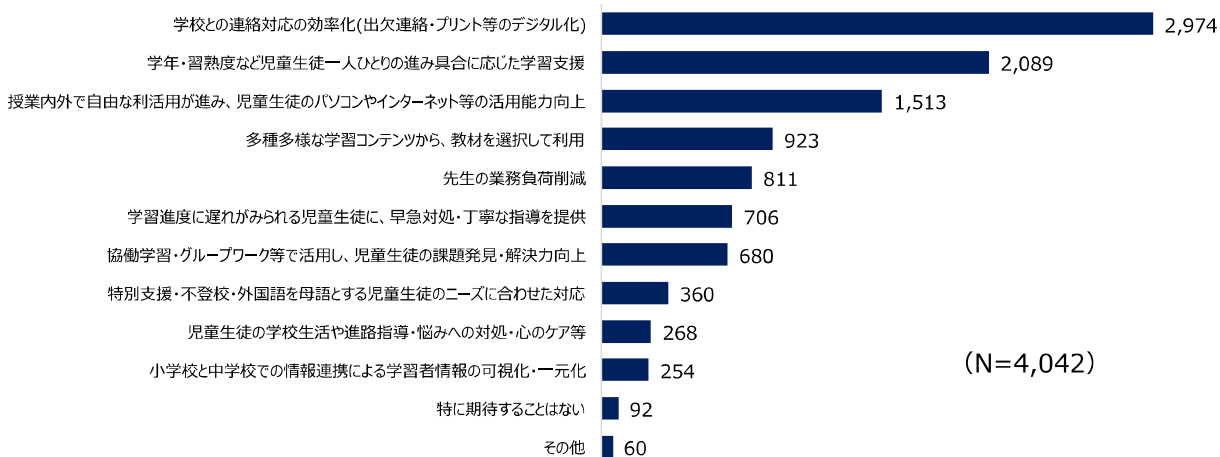


39

## ICT教育が推進された際に期待するデジタル端末の活用

保護者は、ICTによる「学校との連絡対応の効率化」を最も期待しており、出欠連絡や学級だより等お便りのデジタル化の早期実現が保護者理解醸成にとっても有効な手段と言える。

**Q：学校でICT環境の活用を推進していく場合、どのような活用方法を期待しますか。（最大3つまで選択可）**



40

## ICT教育推進に対して心配・不安に感じている事項

保護者の見えない範囲で「悪口・いやがらせ・仲間はずれ」が起こることを最も懸念されており、チャット・メール機能の適切な運用ルール作り及び学校側による管理が求められる。

**Q：学校でICT環境の活用を推進していく場合、心配・不安に感じることは何かありますか。（最大3つまで選択可）**

